令和7年(2025年)10月④

学校通信

# 和の光

宝塚市立西谷中学校



## 君は自分の峠を越えようとしているのか

校長 筒井 啓介

「私は、はっきり言って成績が悪い。理由は家に帰っても予習復習を全然しないからです。もちろんテスト勉強も本当のことをいうと全然していません。「どうして?」と聞かれても答えることができません。「やらなきゃいけないのに!!」と思っても体が動きません。ただの言い訳ですけど事実です。悔しいです。自分の我がままに自分自身が負けているのです。悔しいです。」

この文章は私が今から26年前に担任していた中3の女子生徒が進路アンケートに書いたものです。この生徒以外にも、親から「受験生なのだから勉強をしなさい」と言われます。そんなことは自分でも分かっている。だけど、体が動かない。集中力が続かない。といった様な意見がたくさん目につきました。学校通信で今までに勉強の必要性について何度か取り上げてきたので、ここで細かなことを書かなくても皆さんは、既に承知のことだと思います。

ここで、詩人の真壁仁氏が書いた「峠」の中にある一節を紹介します。

「峠に立つとき 過ぎ来し道はなつかしく ひらける道は楽しい ひとはそこで ひとつの世界にわかれねばならぬ」と記されています。峠に立つことによって、これまでに自分が歩んできた道を振り返ることができるし、未来に向かって自分の道を歩みだすことができると語られています。「峠」を登ることはとても大変なことです。中学卒業後の進路を考えていかなければならないこの時期を機会に、目標をしっかりと立てて「峠」を登り続け、「峠」を乗り越えて行くことはとても大切なことです。しんどいからと言って「峠」を登らなければ、いつまでも甘えた自分がいるだけです。自分の「峠」を登り切れたら、必ず爽快な気分になるでしょう。そして、自分を成長させてくれる新たな「峠」が見えてくるはずです。このように人間は幾多の「峠」を乗り越えながら成長し、生きていくのです。

- 今、君はどんな「峠」を持っているのか。
- 今、君は「峠」を登る姿が見えているか。
- 今、君は「峠」を超えようとしているか。

「峠」の向こうには君の道が拓けます。 希望と勇気を持って、第一歩を踏み出そう。 希望と勇気を持って、自分の殻を破ろう!!



## ■稲作にチャレンジします その6(1年生)









千歯扱きを使って脱穀しました









足踏み式脱穀機を使って脱穀しました





唐糞を使って翔と藁くずを選別しました





| 籾摺り機も使いました

玄米を触ってみました

前回は稲刈りと稲を自然乾燥させるために「稲架掛け」をしました。今回は、脱穀・繋すりの作業 を体験させていただきました。

#### 【脱穀作業】

千歯扱き(鉄の歯の隙間に稲の穂先を入れて、引き抜くと籾だけが落ちる農機具)を使って乾燥させた稲の穂先から籾を落としました。力加減が難しかったようですが、回数を重ねるうちに上手にできるようになってきました。続けて、足踏み式の脱穀機も使わせていただきましたが、あっという間に脱穀ができるのにはみんな驚いていました。

### 【籾摺り作業】

脱穀後、唐糞を使って繋と藁くずを選別しました。木製の箱のような農具ですが手動式のハンドルを回して風を起こしながら選別できる仕組みにみんな感心していました。(昔の人の知恵と工夫で考え出された農具に感心したようです)

最後に籾摺り機を使って籾摺りを行いました。バケツの中に一杯にたまった玄米を触ってその感触 を確かめてみました。

5月から取り組んだ稲作ですが、ようやく脱穀・籾摺りを終えて玄米を手にすることができました。次は11月に玄米を精米して食べる予定です。自分たちの手で育てたお米を食べるのはとても貴重な経験になると思います。次回の活動がとても楽しみです。(10月4日)

# ■「やっちゃえ!西谷 Day2025」を開催します

11月8日(土)に「やっちゃえ!西谷 Day2025」を開催します。内容は小学校の音楽会・吹奏楽部定期演奏会・人権講演会・マルシェと野外ステージショーです。これらを1日通して体験することで文化芸術に触れる機会となれば良いなと思います。また、この事業は学校・保護者・地域が共に企画・運営しています。ご家族やお知り合にもお声がけいただきたくさんの皆様に参加いただけると嬉しく思います。(昨年度お世話になったBOROさんも講演されます)



